

令和3年第1回定例会（6月議会）

## 農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

令和3年6月21日

農 林 水 産 部

# 目 次

1	農林水産業及び農山漁村に関する年次報告について〔農林政策課〕	1
2	田んぼダムの実証について〔農地整備課〕	4
3	林内路網整備に関する年次報告について〔森林整備課〕	6

# 1 農林水産業及び農山漁村に関する年次報告について

農林政策課

「秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例」に基づき、令和2年度の農林水産業及び農山漁村の動向並びにその振興に関し県が講じた施策を報告する。

秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例（平成15年3月11日施行）  
（年次報告）

第8条 知事は、毎年、農林水産業及び農山漁村の動向並びに農林水産業及び農山漁村の振興に関し県が講じた施策を明らかにする報告書を作成し、県議会に提出するとともに、公表しなければならない。

## 1 農林水産業及び農山漁村の動向

### (1) 概要

#### ア 農業分野

- 令和元年の農業産出額は1,931億円（全国19位）で、前年に比べて88億円増加（全国1位）し、増加率は4.8%（全国1位）と高い水準を維持。
- 部門別では、米が1,126億円で全体の58.3%を占めるものの、野菜281億円、果実84億円、花き28億円、畜産362億円となるなど、米以外の部門の合計は805億円となり、過去20年間では、平成30年の807億円に次いで2番目。

#### イ 林業分野

- 令和元年の素材生産量は1,289千 $m^3$ （対前年比100.3%）となる一方、製材品出荷量は233千 $m^3$ （対前年比95.1%）に減少。

#### ウ 水産業分野

- 令和元年の海面漁業生産量は5,652トン（対前年比91.3%）、産出額は26億円（対前年比88.4%）に減少し、漁業協同組合員1人当たりの生産額は280万円（対前年比98.7%）で横ばい。

#### エ 農山漁村分野

- 令和2年度の農業・農村の有する多面的機能を維持するための共同活動の取組面積は97千ha（農振農用地面積の約66%）で横ばい。

### (2) トピックス（令和2年度の特徴的な動きを紹介）

- 「農林漁業振興臨時対策基金を活用した事業の成果」など29項目のトピックスを掲載（冊子：トピックス集 P89～121）。

## 2 農林水産業及び農山漁村の振興に関し県が講じた施策

県が令和2年度に講じた施策について掲載（冊子：第2部 P123～143）。

### (1) 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

- 農地中間管理機構による農地集積・集約化を促進し、1,012経営体に対して3,024haの農地を貸付。
- 国の農業次世代人材投資資金に加え、中年層を対象とした県独自のミドル就農給付金等の支援により、多様なルートや幅広い年齢層から241名の新規就農者を確保。
- 移住就業希望者向けのオンライン窓口を設置し、就農相談や支援制度等の情報提供をしたほか、農業法人での就業体験研修等を実施。
- 秋田県林業大学校において、専門性と実践力を高める研修を実施し、第5期研修生15名が県内の林業事業体等に就職。

### (2) 複合型生産構造への転換の加速化

- えだまめやねぎ、しいたけについて、日本一に向けて生産・販売対策を集中的に実施した結果、しいたけは、京浜中央市場で出荷量・販売額・販売単価が日本一となる三冠王を2年連続で獲得したほか、ねぎの系統販売額が過去最高を更新。
- メガ団地等は、令和2年度までに41団地の整備が完了し、能代市轟地区をはじめ、5団地で販売額1億円を達成。
- 「秋田牛」の生産基盤の強化を図るため、肉用牛の大規模団地の整備を支援し、秋田地区で400頭規模の肥育牛舎が完成したほか、由利地区など4経営体で繁殖雌牛43頭及び肥育素牛55頭を導入。
- コロナ禍による外食需要の落ち込みにより販売不振となった牛肉や比内地鶏、水産物、青果物を学校給食等へ提供し、消費拡大を推進。

### (3) 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

- 新品種の名称を全国公募し、「サキホコレ」に決定するとともに、作付推奨地域等を設定したほか、令和4年産の生産団体を募集し、14団体、719haを登録。
- コロナ禍で低迷する主食用米の需要拡大に向けたキャンペーンを支援したほか、日本酒消費が落ち込む酒米の加工用米への用途転換を推進。
- 水稻と大豆の大規模経営において、耕起・代かきから収穫まで、自動操舵などの先端技術を体系的に組み合わせたスマート農業の現地実証を実施。
- 米、麦、大豆の生産に必要な優良な種子の確保と安定的な供給に向け、産米改良協会やJA、採種組合と連携した取組を実施。
- ほ場整備を58地区、819haで実施し、農業法人等への農地集積と農作業の効率化を図るとともに、戦略作物の品質や収量の向上に向け、地下かんがいシステムを725haで整備。

### (4) 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

- 農産加工等による経営の多角化や生産能力の増強を図る農業法人に対し、必要

な機械・設備の導入を支援。

- 台湾やタイなどをターゲットに、農業団体や民間企業と連携した輸出ルートの開拓に取り組み、りんごや秋田牛の輸出を拡大。
- コロナ禍による外出自粛で落ち込んだ農産物直売所の売り上げ回復を図るため、農産物や加工品等の県外への送料を助成。

#### (5) 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化

- 非住宅分野における県産材の利用を促進するため、産学官が連携して開発した「秋田スギトラス」を活用した畜舎が完成。
- 木材の安定供給や森林施業の集約化を推進するため、林業専用道21路線を開設したほか、17台の高性能林業機械の導入を支援。
- 計画的な森林施業を実施するため、全県の森林簿及び森林計画図の整備と地域森林計画の策定を実施。
- コロナ禍による需要の減少に対応するため、製材品の出荷作業の効率化に向け、木製品保管施設の整備を支援したほか、県外への運搬経費を助成。

#### (6) つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興

- つくり育てる漁業を推進するため、「第7次栽培漁業基本計画」に基づき、水産振興センターを拠点に、マダイ・ヒラメ・トラフグ等の種苗生産を実施。
- ギバサ（アカモク）の安定出荷を目指し、養殖用種苗の量産技術開発と養殖技術の確立に向けた試験を実施。
- 県産水産物の加工利用促進を図るため、新商品の開発を支援したほか、水産物コーディネーター1名を配置し、販路拡大をサポート。
- 生産性の高い漁場造成に向け、イワガキの増殖場の整備と3,402haの天然漁場の底質改善を実施。

#### (7) 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり

- 中山間地域において一定の所得を確保できるよう、「地域資源活用プラン」の策定を支援するとともに、9地域において水田の畑地化を実施したほか、26地域の機械・施設の導入等を支援。
- 農山村が有する多面的機能を県民共有の財産として後世に引き継いでいくため、「守りたい秋田の里地里山50」認定地域（51地域）のうちの12地域において、企業や大学と地域が協働で行う保全活動等に対して支援。
- 農家民宿や農家レストラン等31事業者に対し、新型コロナウイルスの感染防止対策のための衛生設備や施設改修等の安全対策を支援。
- 「森林経営管理制度」の円滑な推進に向け、県内4か所に支援員を配置し、市町村の実情に応じたサポートを実施。

## 2 田んぼダムの実証について

農地整備課

水田の活用による流域治水の取組を推進するため、従来型田んぼダム及びスマート田んぼダムの効果を検証する。

### 1 田んぼダム実証モデル地区の設置

ほ場整備実施地区において、流量調整板等を用いた従来型田んぼダムの実証田を設置する。

- ・ 実施地区 10地区 

{	山本管内	東雲原地区ほか1地区
	秋田管内	四ツ小屋北地区ほか2地区
	仙北管内	大仙美郷地区ほか3地区
	平鹿管内	浅舞北部地区

### 2 スマート田んぼダム実証事業の実施

ほ場整備実施中の1地区において、従来型田んぼダムに加え、自動給排水システムを用いたスマート田んぼダムの実証田を設置し、水田の雨水貯留機能を比較・検証する。

- ・ 実施地区 大仙美郷地区（大仙市・美郷町）
- ・ 実施期間 令和3年度
- ・ 事業主体 美郷町千畑土地改良区
- ・ 実施内容 

スマート田んぼダム実証ほ場	9ha（自動給排水システム設置）
従来型田んぼダム実証ほ場	10ha（流量調整板等設置）
通常営農ほ場	6ha（流量調整板等なし）
- ・ 事業費 20,000千円（国100%）  
自動給排水システム設置費、現地調査費

### 3 田んぼダムの普及・拡大に向けた取組

#### (1) 田んぼダム推進検討会の設置

- ・ 構成 県、市町村、土地改良区、農業法人、県立大学等
- ・ 内容 実証モデル地区の調査結果を踏まえた効果の検証と課題の抽出

#### (2) 田んぼダム通信の発行

- ・ 発行回数 月1回程度
- ・ 内容 実証モデル地区の実施状況や取組農家の声などを掲載

#### (3) 田んぼダムフォーラムの開催

- ・ 開催時期 令和3年12月（予定）
- ・ 内容 研究者の講演や先進地の取組事例報告、実証効果の紹介等

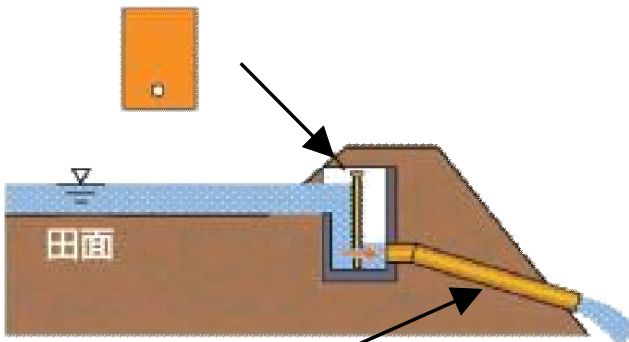
【参考】



- ① スマート田んぼダム実証ほ場 A= 9ha
- ② 従来型田んぼダム実証ほ場 A=10ha
- ③ 通常営農ほ場 A= 6ha

〔スマート田んぼダム実証事業位置図〕

流量調整板 φ 60



塩ビ管 φ 150

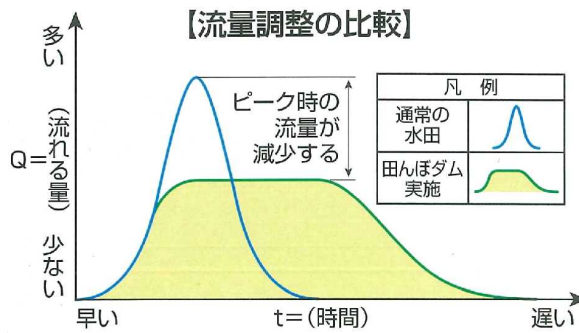
〔田んぼダムの仕組み〕



〔従来型田んぼダム (流量調整板)〕



〔スマート田んぼダム(自動給排水システム)〕



〔田んぼダムの効果のイメージ 農水省HPより〕

### 3 林内路網整備に関する年次報告について

森林整備課

「秋田県林内路網の整備の促進に関する条例」に基づき、林内路網整備に関し、県が講じた施策を報告する。

秋田県林内路網の整備の促進に関する条例（平成24年4月1日施行）  
（年次報告）  
第11条 知事は、毎年、林内路網の整備に関して講じた施策を明らかにする報告書を作成し、県議会に提出するものとする。

#### 1 林内路網の整備状況について

- ・ 令和2年度に講じた施策により、林道（林道＋林業専用道）延長累計は、目標3,435kmに対して実績は3,088kmとなり、達成率は89.9%であった。
- ・ 森林作業道等については、目標6,546kmに対して実績は9,066kmとなり、達成率は138.5%であった。

単位：km、%

区分	令和元年度まで	令和2年度	合計	目標(令和2年度末)	達成率
林道	2,424.8	1.9	2,426.7	—	—
林業専用道	642.5	18.5	661.0	—	—
小計	3,067.3	20.4	3,087.7	3,435.3	89.9
森林作業道	8,284.9	395.7	8,680.6	—	—
その他作業道	383.9	1.5	385.4	—	—
小計	8,668.8	397.2	9,066.0	6,546.3	138.5
合計	11,736.1	417.6	12,153.7	9,981.6	121.8

#### 2 令和2年度に講じた施策について

- (1) 林道  
森林資源循環利用林道整備事業により、2路線について1.9kmを開設した。
- (2) 林業専用道  
高能率生産団地路網整備事業等により、23路線について18.5kmを開設した。
- (3) 森林作業道  
造林補助事業等により、720路線について395.7kmを開設した。
- (4) その他作業道  
治山施設の管理用道路として、12路線について1.5kmを開設した。

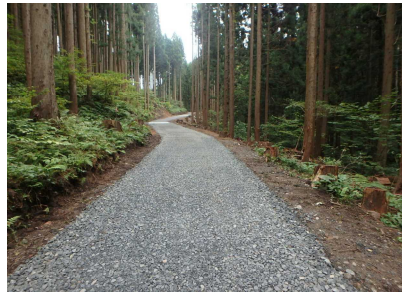


【参考】

○ 令和2年度に開設した主な林内路網



林道 峰浜線（八峰町）



林業専用道 大滝沢線（北秋田市）



森林作業道 上乙泉線（羽後町）

○ 路網整備のイメージ図



- ・ 林道：森林の管理や林産物の搬出のため森林内に開設する幹線道路で、大型車（20 t 積みトラック）の通行可能な自動車道。幅員4.0～7.0m
- ・ 林業専用道：林道を補完し、森林施業に供する道で、普通自動車（10 t 積みトラック）に応じた規格・構造を有するもの。幅員3.5m
- ・ 森林作業道：林業専用道等と組合せ、丸太の搬出等のため、主にフォワーダ等の林業機械が走行するための道。幅員2.5～3.0m
- ・ その他作業道：治山事業の管理道及び県営林経営事業の作業道等。幅員3.0～4.0m